

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	県道にある電柱について	<p>日々の行政、ありがとうございます。            通行の邪魔になってる電柱あり、その横の土地が売りに出ているので、土地購入等の検討をお願いしたく、投稿しました。            県道136号 徳島市八万町内浜20 電柱3本            バスやトラックが、通行する際は、片側の車は、譲らないといけないし、歩行、自転車も毎日危険な場所です。            電柱の土地使用料など、詳しくないので、場違いなお願いかもしれませんが、情報としてお伝えいたします。</p>
2	神山、山川線(193号)	<p>月に一回ほど通行していますが、ご存知とは思いますが、神山町上分名の道路が、長さ10mから20mほどで幅が3mほどに谷川に陥没状態で、車が、半分谷川に落ち込んでしまいます。そのために、念入りに、谷向に行って、谷川を見てみますと、谷に大きな岩石が2個ほど谷川にせり出しています。            道路に、コーンとバーで印をしているだけが、県の仕事ではないのではないのでしょうか。まもなく雨の季節になってきます。突然崩れてくることも考えられます。その時には、”道路にはコーンで印を入れていました。”で終わりにしますか？先月より、今月のほうが、道路の陥没が大きく落ち込んでいました。早く対処のほどをお願いしたいと思います。！</p>
3	高速道路の整備促進等について	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は道路局長さんを通じて、徳島自動車道の早期の完全四車線化(鳴門JCT～川之江東JCT間)の併用開始が行われなければならない。⇒企業立地の促進, 物流流通の円滑化, 観光の振興(阿波の土柱・御所のたらいどん)            ※ 令和8年の年内に徳島自動車道の阿波市場スマートICが運用開始</p>
4	高速道路の整備促進等について	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は国土交通省道路局長さんを通じて、徳島自動車道の上板SAにインフォメーション・道路観光案内所の開設並びに松茂PA・阿波PA・池田PAにそれぞれに売店の開店と軽食コーナーの開業をしなければならない。            ※ 徳島自動車道の魅力度アップを図る。</p>
5	徳島空港の安全と安心について	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は国土交通省航空局安全部長さんを通じて、共用空港の徳島空港にカテゴリ-CAT-IIIを導入しなければならない。</p>

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
6	青少年センター跡地はお祭り広場にしよう	<p>藍場浜公園に新ホールを建設することを大前提として提案します。</p> <p>以前のホール建設予定地は とりあえず県所有部をお祭り広場にしてはどうか？ 徳島市所有部は市の協力が得られたら合体、拡張する。理由は 藍場浜公園にホールを建設する場合 ホールに供しない東側の公園部が 相当長い期間工事の仮設・資材ヤードとして使われる。そうでないと ホールの建設作業は ほぼ不可能と推測する。となると 毎年の大規模なイベント（阿波踊り、〇〇祭り 等々）開催スペースが消滅する。このダメージは大きい。クレームも多数予想される。臨時施設か恒常的かは 車両基地計画等の決定次第と思うが。</p> <p>また中央警察署と中央郵便局の間の国道192号の拡張も並行して進めて欲しい。左折専用の2車線を曲がったら その先の国道は1車線だった というのはおかしいでしょ。</p> <p>合わせて 新アリーナは建設中止、アスティとくしまで十分。5000人収容だからBリーグの要求を満たしている、不足要素は内部改造で可能。極力コストを抑える施策を実施してほしい。長寿命化を推進しよう。以前にも指摘したが 人口は毎年1万人前後減少している一方で県債残高は同じ水準を維持している。ということは これから生まれてくる子供たちの負担が今よりも はるかに大きくなる可能性があるということ。大規模施設の利用頻度も低下することだろうし。周辺の各府県も人口減少するなか 施設に人を呼びこむ施策を考えている。徳島県だけが都合よく吸引力が増す見込みは少ないと思う。背伸びしないことです。</p>
7	高德線の電化について	<p>以前からとくしま目安箱には高德線や牟岐線の電化の要望があるようです。</p> <p>「高松駅から徳島駅まで」の高德線や「徳島駅から阿波海南駅まで」の牟岐線の電化を行い、「松山駅から高松駅」の予讃線を走る特急いしづち(特急電車8000系や8600系を使用)を高徳線や牟岐線に直通させ、徳島駅や阿波海南駅まで延伸できれば、徳島県の人だけでなく、愛媛県の人にとっても出張や観光で便利になると思います。</p> <p>高德線の電化に伴い、特急気動車2700系が余剰となれば、「高知駅から中村駅」の土讃線・中村線・宿毛線を走る特急あしずりや「松山駅から宇和島駅」の予讃線(非電化区間)を走る特急宇和海で使われている2000系(N2000系含む)を置き換える形で2700系を特急あしずりや特急宇和海の運用へ転属させることができ、高知県や愛媛県の人にとってもプラスになる可能性もあります。</p> <p>また、岡山から高松を走っているマリンライナーも徳島まで延伸できれば、岡山から徳島まで直通する列車の復活もできる可能性もあります。</p> <p>高德線や牟岐線の電化の際は費用がかかると思うので、関連自治体と協力して電化のための資金をクラウドファンディングで募ってみるのもいいかもしれません。</p>
8	インバウンド向け公共交通クレカタッチ決済導入	<p>徳島主要バスでICOCAが使えるようになったとニュースで見ました。関西圏で使っている人も多いため、出張の際に使う人や、通勤・通学の定期として活躍が期待できるのが良いと思います。</p> <p>最近知ったのですが、タッチ決済ができるクレジットカードでも乗車支払いが可能になってきているとのこと。インバウンド向けや普段あまりバスを使用しない人にも良いと思うので導入してみてはどうですか？</p>

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
9	南海フェリー事業撤退について	<p>平素より地域行政のためにご尽力賜り、深く御礼申し上げます。            南海電気鉄道が運行する和歌山―徳島間を結ぶフェリー事業から撤退するというニュースを見ました。県民が関西圏へ移動する際に不便になり、物流にも影響が出ると思います。            香港の航空会社「グレーターベイ航空」の赤字補填を県が補助金でしていたと過去から、南海電気鉄道に和歌山県と協力して補助金を出してフェリー事業の運行継続を打診できないでしょうか？</p>
10	南海フェリーの存続支援に関するお願い	<p>徳島県の未来のために、日夜ご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。            本日発表がありました「南海フェリー」の存続について、一県民として切実な願いがあります。            私にとって、そして多くの徳島県民にとって、南海フェリーは単なる移動手段ではありません。以下の理由から、県の強力な補助金支援を含めた存続支援を強く要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時の代替路としての重要性              南海トラフ巨大地震などの災害時、明石海峡大橋や大鳴門橋が通行不能になった際、フェリーは四国の孤立を防ぐ唯一無二の「命の航路」となります。</li> <li>2. 物流・経済への影響              トラック輸送をはじめとする物流網において、ドライバーの休息確保やコスト抑制の観点から、フェリーは極めて重要な役割を果たしています。航路がなくなれば、本県経済への打撃は計り知れません。</li> <li>3. 県民の生活と多様な選択肢              私自身関西が地元でありフェリーのおかげで快適に地元―徳島を行き来でき徳島県に住めております。徳島に橋の通行料金やガソリン代が高騰する中、徒歩や自転車でも関西へ渡れるフェリーは、学生や高齢者にとっても貴重なインフラです。              民間企業一社の努力には限界があります。この航路は「公共財」であり、徳島の財産です。どうか、県が主導となって財政支援や維持に向けた具体的な施策を検討していただき、未来へこの航路を繋いでいただけますよう、心よりお願い申し上げます。</li> </ol>
11	南海フェリー	<p>○後藤田正純徳島県知事は独立行政法人のJRTT鉄道建設・運輸施設整備支援機構の補助金を活用して、南海フェリーの新しい船舶建造費用に充当して南海フェリー徳島=和歌山航路の船舶航路維持を図らなければならない。</p> <p>※ 空海が繋ぐ海の遍路道の維持            ⇒ 「四国88箇所霊場と遍路道」と「紀伊山地の霊場（高野山金剛峰寺）と参詣道」の地域間文化交流の維持</p> <p>※ 紀州接待講（薬王寺）・有田接待講（霊山寺）・野上接待講（霊山寺）のお接待の維持</p> <p>※ 南海フェリーの歌「海のむこうに-小さな旅たち-」（歌 宝子）</p>

	タイトル	意見等
12	南海フェリーの存続を強く希望します	<p>後藤田知事、お疲れ様です。          徳島に住む66歳の者です。          南海フェリーが撤退を検討しているというニュースを聞き、非常に危機感を感じております。この航路は、徳島と関西を結ぶ単なる交通手段ではなく、災害時の代替ルートや地域の物流を守る「命の道」でもあります。私自身、これまで何度も利用してまいりましたし、これからも徳島にとってなくてはならない存在だと信じています。          船の老朽化や燃料高騰など、維持が大変なことは承知しておりますが、県として最大限の支援を行い、何としてもこの航路を守り抜いていただけるよう、強くお願い申し上げます。徳島の未来のために、よろしくお願いいたします。</p>
13	南海フェリー撤退	<p>○ 後藤田正純徳島県知事は南海フェリーの撤退を阻止するために、南海フェリーへの独立行政法人国立高等専門学校機構の鳥羽商船高等専門学校・広島商船高等専門学校・大島商船高等専門学校・弓削商船高等専門学校からの航海士等の人材確保ができなければならない。          ○ 後藤田正純徳島県知事は南海フェリーの撤退を阻止するために、一般社団法人日本旅客協会を通じて、南海フェリーへの日本旅客協会の会員のフェリー会社からの船員等の人材確保ができなければならない。</p>
14	南海フェリー（徳島一和歌山航路）の存続に向けた公的支援と維持のお願い	<p>徳島市に在住している一県民として、南海フェリーの事業撤退というニュースに接し、強い危機感と悲しみを感じております。この航路の存続に向け、県として最大限の支援と対策を講じていただきたく、切実な思いを筆記いたしました。          私事ではございますが、私の妻は大阪府の出身です。県外から徳島へ嫁いでくれた妻にとって、和歌山経由で実家へスムーズに帰省できるこの航路は「心の支え」であり、徳島での生活を選んでくれた大きな理由の一つでもありました。私にとっても、妻の実家との縁をつなぎ、家族の交流を支えてくれるかけがえのない「生活の足」です。          もしこの航路がなくなれば、明石海峡大橋経由の陸路を余儀なくされますが、運転の負担増や移動時間の増大は、私たち家族の生活に多大な影響を及ぼします。          南海フェリーは単なる一企業の事業ではなく、国道28号の海上区間としての役割、災害時の代替路、そして私のような移住・定住家族を支える重要なインフラです。民間一社での維持が困難であるという現状は理解しておりますが、だからこそ「上下分離方式」の導入や公的補助の拡充など、行政の強力な介入が必要であると考えます。          徳島を愛し、ここで暮らし続ける県民の日常を守るために、どうか南海フェリーを失くさないでください。県知事をはじめ、関係各所の皆様の懸命なご尽力を切に願っております。</p>